

1. 国語を学ぶねらい

中学2年ではここまで身につけてきた話す・聞く・書く・読む力を土台とし、生きていく上で必要な国語の能力を伸ばしていく。さまざまな文章を読み、正確に理解し自分の考えを形成し表現する力、日常生活でよく使われる漢字の読み書きの力、硬筆・毛筆で文字を正しく整えて速く書く力を養う。そして他者と適切なコミュニケーションをとり、伝え合う力を養っていく。

2. 学習方法

- ・授業中、先生の説明や他の人の話をしっかり聞きよく考え理解し、ノートやプリント等を書くべきことをきちんと書く。
- ・発問に対しては、自分の頭で考え、積極的に発言をする。相手の発言を受けて発言する場合は、挙手をして指名されてから答えること。「自由に発言を」と指示があった時はその場で答えてよい。
- ・説明を聞いても不明な点が残る場合は、その授業が終わったらずぐに積極的に質問する。
- ・漢字学習は毎日少しずつ行い、実際の文章の中にかすことを意識する。

3. 持ち物、忘れものなどについて

毎回の授業の持ち物 …教科書・授業ノート・国語ワーク・漢字のワーク・資料集（書写・毛筆）
毛筆書写道具一式・書写教科書・半紙（書写・硬筆）書写教科書・鉛筆 2B~4B 忘れ物をした時は授業開始のチャイムの前に申し出ること。

4. 学習の評価内容と評価方法

- ①「知識・技能」 漢字の読み書き・語句語彙の力・言葉のきまり(文法)・硬筆毛筆書写の力等
小テスト 書写授業の取り組み ノート 定期テスト
- ②「思考・判断・表現」 話すこと聞くこと(個人のスピーチ・話し合い活動・聞き取りテスト等)
書くこと(授業で習った方法で制限字数と時間内に書く 意見文・感想文・手紙文・課題作文等)
読むこと(文章の要点や人物の心情を読み取り自分の考えを広げる、深める 授業での問答、考えの発表、ワークシート記入、ノートのまとめ、定期テスト)
- ③「主体的に学習に取り組む態度」 あきらめず粘り強く学習課題に取り組んでいるか。言語感覚を豊かにするための読書に取り組んでいるか。ノートの振り返り

5. 先生からのアドバイス

国語力はコミュニケーションの道具です。相手の話をきちんと聞き、要点をしっかりと理解する力が必要であり、そこから自分の考えをもち、工夫して伝える力をつけていく必要があります。そのためにも、授業中は積極的に聞き、質問し、発言をしましょう。授業で間違えることや質問することは恥ずかしいことではありません。また、手書き文字を正しく整えてより速く書く力も身に付け、言語感覚・文字感覚を同時に磨いていきましょう。

5. 国語科 年間学習計画

| 学期 | 月 | 単元名・学習内容 | 学習の目標 | 評価方法 |
|----|---------------------|---|---|--|
| 1 | 4 5 7 | <p>名付けられた葉 セミロングホームルーム グループディスカッション ジャンケンはなぜグーチョキパーの三種類なのか 人間は他の星に住むことができるのか。 手紙を書く</p> <p>短歌の世界</p> <p>文法 壁に残された伝言</p> <p>読書体験 書写（4～7月） （調和・紅花・仮名）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・リズムを感じながら音読し表現の効果を考える ・人物の設定、言動の意味役割について考える ・相手の考えと比較しながら聞き考えをまとめる ・文章の構成や論理の展開のしかたを考える ・主張と例示の関係に着目して読み、内容を理解する ・相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして手紙の形式をふまえて書く ・短歌のリズムや表現方法について理解し、情景や心情に注意して読み味わう。短歌を創作する ・用言の活用について理解する ・全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解し、自分の考えを広げたり深めたりする ・読書を通して自分の考えを広げ、深める ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく速く書く（毛筆・硬筆） | <p>授業への取り組み 宿題提出物 小テスト 漢字テスト ノート 国語ワーク 漢字学習ノート プリント 書写提出物 作文（品） スピーチ 聞き取り 定期考査</p> |
| 2 | 9 10 11 12 | <p>100年後の水を守る 図表と文章</p> <p>プレゼンテーション 枕草子・徒然草・ 平家物語・漢詩</p> <p>複数の情報を関連づけて 考えをまとめる 共生社会に関するデータ 自律とは 投稿文</p> <p>文法 大阿蘇 小さな手袋 書写（9～12月）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・文章と図表を結び付け筆者の考えを捉える ・読んで理解したことと知識と経験とを結びつけて自分の考えを広げる ・適切な根拠、論理の展開、話の構成を工夫する ・自然や人間に対するものの見方や感じ方を捉える ・古人の心情を読み取る ・語句の意味に注意しながら音読し古典のリズムを味わう ・場面・状況・情景を捉える ・意見と根拠の関係に注意して互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、考えをまとめる ・読んで理解し考えたことを知識や経験と結び付け自分の考えを広げたり深めたりする ・材料を整理し、伝えたいことを明確にする ・助詞・助動詞の働きについて理解する ・表現技法と効果を理解し情景を読み取る ・人物像と相互関係、心情を読み深める ・目的や必要に応じて楷書・行書を選んで書く | <p>1学期に同じ</p> |
| 3 | 1 2 3 | <p>書写（1月） 創作文 動物園でできること</p> <p>論説文 走れメロス</p> <p>情報誌・地域の魅力</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・書き初め作品を相互評価をして鑑賞し合う ・描写や展開などを工夫して書く ・主張と例示との関係に注意して主張を捉える ・文章の構成や展開を工夫して書く ・言動の意味・人物像とその変化を捉える ・取材調査で集めた情報を工夫してまとめる | <p>1学期に同じ</p> |

